

教務所たより

2026年1月号

教務所・教務支所開所時間

平日9時から17時まで

土日祝日は休み（支所は水曜
定休、そのほか臨時休あり）

弥陀の本願信ずべし
本願信ずるひとはみな
摂取不捨の利益にて
意上覚をばさとりなり

親鸞聖人『正像末和讃』より

旧年中は相続講ならびに教区諸事
業に多大なるご尽力を賜りましたこ
と厚く御礼申しあげます。

お念仏を申しつつ、お講の維持と
活性化の歩みを共にしてまいりまし
よう。

本年も変わらぬご理解とご協力を
賜りますよう宜しくお願い申しあげ
ます。

南無阿弥陀仏

真宗大谷派（東本願寺）

小松大聖寺教務所 所員一同



2026年にあたって

小松大聖寺教務所長 宮尾隆造

慶讃法要から繋ぐ相続講～子どもたちそして次世代門徒へ～

小松大聖寺教区となってから初めての宗祖親鸞聖人御誕生850年並
びに立教開宗800年の慶讃法要がいよいよ明年5月に厳修されます。

昨年は法要の概要、基本方針等の策定について協議をすすめた「計画
の年」でありました。そして、本年は「始動の年」と言えるのではない
でしょうか。春からは花まつり等の慶讃事業が翌年の法要に先だって各
地域で開催されます。次第に教区内がにぎにぎしさを帯びてくるのでは
ないかと、今から胸を膨らませております。

そしてなによりも、慶讃法要・慶讃事業を機縁として、「お講の維持・活性化」と次世
代の門徒教化につなげることが最も重要であります。形骸化することなく、幾代にわたり
連綿と続いてきた相続講本来の姿、それを次世代へ繋いでいくことができるのは、いまや
全国で小松大聖寺教区だけといっても過言ではありません。相続講が残る唯一無二の教区。
その矜持とともに、より一層のご尽力いただきますようお願い申し上げます。

寺院講活性化支援室を中心に、教区としても「お講の維持・活性化」という目標に向け、
文字通り世代を超えるほどのロングスパンで取り組んでいくとともに、あらためて、「僧
侶、坊守、寺族及び門徒は、すべて本講に加入することを要する【相続講条例第5条】」
という相続講の本旨を推進していただきますようお願い致します。

今まで以上に寺院・門徒方のサポートが必要不可欠になりますので、各組・町において、
ご門徒と寺院が一丸となって、教財一如の願いのもと取り組んでくださいますようお願い
申し上げます。



●宗派経常費（相続講金）収納状況について

日頃より法義相続・本廟護持のため一方ならぬお力添えを賜っておりますこと誠にありがとうございます。12月19日現在の宗派経常費（相続講金）の収納状況につきまして、ご報告申し上げます。

なお、これまでは教区及び各地区の収納状況のみをご報告しておりましたが、世話方より「募財に協力したいが自身が所属する組門徒会の収納状況が分からないと協力しにくい」というお声を頂戴していることから、各地区組門徒会長会にて協議した結果、各組の収納状況についても掲載することといたしました。

引き続き、御本山へ御懇念をお運びくださるよう皆様のお力添えをお願いします。

2025年12月19日現在

（単位：円）

	組名	御依頼額	収納額	増・△減	収納率
小松地区 本山御依頼額の 69%を割当	苗代組	9,423,675	3,049,615	△ 6,374,060	32.3%
	粟津組	9,423,675	3,379,300	△ 6,044,375	35.8%
	小松組	9,423,675	2,241,000	△ 7,182,675	23.7%
	徳橋組	9,423,675	7,174,100	△ 2,249,575	76.1%
	板津組	9,423,675	2,713,000	△ 6,710,675	28.7%
	北板津組	9,423,675	4,761,067	△ 4,662,608	50.5%
	十日講組	9,423,675	7,249,338	△ 2,174,337	76.9%
	九日講組	9,423,675	1,589,600	△ 7,834,075	16.8%
	美山班	—	582,000	—	—
	教区/第2組扱い	—	3,490,200	主に地区外在住門徒	
大聖寺地区 本山御依頼額の 31%を割当	東組	8,535,800	5,319,535	△ 3,216,265	62.3%
	西組	2,572,800	1,440,500	△ 1,132,300	55.9%
	南組	3,289,700	1,050,000	△ 2,239,700	31.9%
	北組	5,226,000	1,333,110	△ 3,892,890	25.5%
	中組	3,932,900	1,907,020	△ 2,025,880	48.4%
	第1組寺院	11,179,200	3,860,017	△ 7,319,183	34.5%
小松地区 合計		75,389,400	36,229,220	△ 39,160,180	48.0%
大聖寺地区 合計		33,870,600	14,910,182	△ 18,960,418	44.0%
小松大聖寺教区 合計		109,260,000	51,139,402	△ 58,120,598	46.8%

※大聖寺地区では、旧大聖寺教区独自の門徒戸数調査で得られた御依頼戸数を用い、地区御依頼目標額を定めて御依頼しているため、御依頼額の合計と割当額に差異があります。また、本年度の1戸あたりの戸数単価については、組門徒会 6,700 円、第1組寺院 4,800 円で御依頼しております。

●「僧伽・散華」会からの能登半島地震・大雨救援金の寄付

教区内のボランティア団体「僧伽・散華」会では、廃棄処分になる布を能登から送っていただき“仏種”として聖典カバー、勤行本袋などに再生する取り組みを、大聖寺教務支所を拠点に行われています。

その売上金は、これまでも教区災害対策委員会が行う災害支援のための救援金として寄付いただいておりますが、このたび25万円のご寄付を頂きましたので、報告いたします。

「僧伽・散華」会は、製作をすべて第1組寺院の坊守を中心とした方々の手作業で行っており、同じ物はない一点ものです。製作した仏種は、小松大聖寺教務所・大聖寺教務支所のほか、本山お買い物広場などでも取り扱っています。是非お買い求めください。

●小松大聖寺教区 能登半島地震・大雨救援金箱について

各寺院・組（くみ）でご協力いただいております募金箱に集まった募金は、能登教区への見舞金、教区災害対策委員会が行う支援事業に活かさせていただきます。

今後も可能な限りの見舞金の贈呈や現地視察など支援のため、皆様の変わらぬ募金をお願いいたします。募金のお届けは教務所・支所までお願いします。

●第8回「教勢調査」教区報告学習会のご案内

全国の寺院教会の教化活動や地域社会の変化について調査する第8回「教勢調査」が2024年1月に実施されました。これまで全国の調査結果については宗派HPや寺院宛ての冊子により報告されていますが、このたび下記のとおり、小松大聖寺教区に特化した調査結果とそこから見える教区や地域の実態と傾向、長所・短所など、専門家によって具体的な分析と説明をしていただきます。

教区内の皆様どなたでも参加（無料）いただけますので、是非ともご参加ください。

日 時：2026年2月18日（水）13時から16時まで（3時間）

会 場：小松大聖寺教務所 [小松市小馬出町26 TEL 0761-22-0555]

説明員：堀 兼大朗 滋賀大学データサイエンス学部講師

宮部 峻 立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部准教授・
親鸞仏教センター嘱託研究員・統計調査専門員

松田 亜世 企画調整局出仕

●是旃陀羅問題 組学習会のご案内

「是旃陀羅」の語について、改めて『仏説観無量寿経』序分を共に学び、一人でも多くの方と問題を共有する機会を広げていくため、組（そ）主催の学習会を催します。

1回のみ参加でも結構です。ぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

日 時：第1回 2026年1月15日（木）13時30分～16時迄

第2回 2026年1月16日（金）13時30分～16時迄

会 場：第1回 大聖寺教務支所 [加賀市大菅波町フ8-1 TEL 0761-72-0373]

第2回 小松大聖寺教務所 [小松市小馬出町26 TEL 0761-22-0555]

参加費：無料

持ち物：念珠、筆記用具、真宗聖典、テキスト『御同朋を生きる』

備考：テキスト『御同朋を生きる』は本山から寺院教会へ送付されていますので、必ずご持参ください。お持ちでない方には当日お渡しします。

●寺院・講活性化支援室「第3回伝道研修」のご案内

宗門の長年の課題である『是旃陀羅問題』について、教区教化委員会 解放運動推進部門（飯貝宗淳幹事）の取り組みにより、今年度は組（そ）における学習会が展開されますが、皆様まで課題が共有されていきますように、是非、僧侶・寺族・門徒、その他の皆様に広くご参加いただきますようお願いいたします。

日 時：2026年1月26日（月）14時～27日（火）11時30分迄

会 場：常葉会館（大聖寺教務支所）[加賀市大菅波町フ8-1 TEL 0761-72-0373]

参加費：1,000円（僧侶以外の方は500円）

※懇親会参加・宿泊希望の方は別途、各2,000円ご負担ください。

講師：宮下 晴輝 氏（大谷大学名誉教授）

「旃陀羅差別と仏教—是旃陀羅問題から学ぶ—」

申込：右のQRコードから専用フォームにてお申込みください。

初日のみ参加等、部分参加も可能です。お申込みの際にお伝えくだ

さい。（ただし、僧侶の方の教師陞補に必要な受講証の交付には全4回・全日程の受講が必要です。）電話・FAXによる申込の場合は、お名前・所属寺院・連絡先電話番号・懇親会参加・宿泊の有無をお伝えください。

締 切：2026年1月12日（月）



第3回申込
フォーム

冬季期間の大聖寺教務支所事務取扱時間について

誠に勝手ながら、冬季（1～3月）の間、大聖寺教務支所の事務取扱時間を9時から16時とさせていただきます。

皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

16時以降に御用の方は教務所（TEL 0761-22-0555）までご連絡ください。

【2026年1月】

小松大聖寺教区 月間行事予定表

日	曜日	小松地区 [小松大聖寺教務所]	大聖寺地区 [大聖寺教務支所]
1	木	12/27(土)から1/6(火)まで 事務休止日となります。	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		13:30 知恩講[本善寺]
7	水		教務支所事務休止
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		9:30 北組組講[野田町公民館]
12	月	9:30 十二日講[教務所] 講師 立島 秀哲氏(富山教区 稱名寺) 講題 「盲亀の浮木・優曇華の花」	
13	火	12:30 新年互礼会[白山菖蒲亭] 教務所午後事務休止・教務支所事務休止	
14	水	13:30 小松地区 組門徒会長会	教務支所事務休止
15	木	9:30 同朋の会新年聞法会[教務所] 講師 松永 悠氏(第2組 長圓寺) 講題 「御同朋とは」	13:30 是旃陀羅問題組学習会①[教務支所]
16	金	13:30 是旃陀羅問題組学習会②[教務所]	
17	土		
18	日	9:30 日曜講座[教務所] 講師 川岸敬巖氏(能登教区 林敬寺) 9:30 十日講組御講[北市町集会所]	9:30 南組組講[黒瀬町公民館] 10:00 中組組講[合河町公民館] 10:00 東組組講[矢田野町公民館]
19	月		
20	火		
21	水	13:30 第4回教化本部会[教務所]	教務支所事務休止
22	木		13:30 示談講[教務支所] 講師 芳原 里詩氏 (第1組 妙徳寺) 15:30 大聖寺地区組門徒会長会
23	金		
24	土		13:30 西組組講[浄泉寺]
25	日		
26	月		14:00 第3回伝道研修 講師 宮下晴輝氏(大谷大学名誉教授) 講題 「是旃陀羅差別と仏教 —是旃陀羅問題から学ぶ—」
27	火		
28	水		教務支所事務休止
29	木		
30	金	13:30 第1組組会[大聖寺教務支所]	※月間行事予定表の表記については、主に教務所・教務支所での聞法会・学習会・研修会、各組のお講等を掲載しております。諸会議は別途案内します。なお、行事は随時追加されることがあります。
31	土		

《本山・連区・その他の月間行事予定》

・1/25(日) 吉崎別院二十五日講[吉崎別院]